

2025 Asian Federation for Pharmaceutical Sciences Conference での海外論文発表



目で見る
海外論文発表

大西里佳*

Presentation at 2025 Asian Federation for Pharmaceutical Sciences Conference

Key Words: Adenovirus vector, vaccine, infection receptor, intranasal, intramuscular

<参加会議名> 2025 Asian Federation for Pharmaceutical Sciences (AFPS) Conference

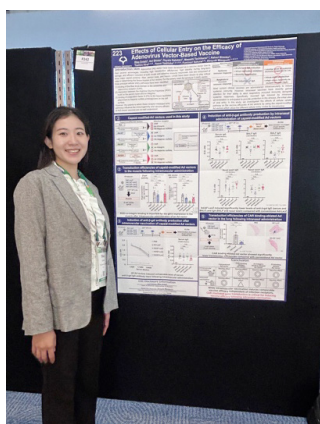
<開催場所> オーストラリア、シドニー

<渡航期間> 2025年12月1日~12月7日

<発表タイトル> Effects Of Cellular Entry On The Efficacy Of Adenovirus Vector-Based Vaccine

2025年12月3日から5日にわたり、オーストラリア・シドニーにて開催された「2025 Asian Federation for Pharmaceutical Sciences (AFPS) Conference」に参加し、ポスター発表を行いました。本学会は、創薬科学や製剤学、薬物送達システム等の先端分野を中心に、アジア全域から多様な専門性を有する研究者が集う場であり、連日活発な議論が展開されました。

今回、本学からの参加者は私一人であり、初めての国際学会へ単身で臨むこととなりました。渡航前は不安や緊張もありましたが、それ以上に世界の薬



発表ポスターの前で記念撮影

学研究の最前線に触れることができ、非常に刺激的な経験となりました。発表においては、感染症ワクチン開発の重要モダリティであるアデノウイルスベクターを主題とし、細胞への侵入経路の違いが最終的なワクチン有効性に与える影響について



学会会場の様子

報告いたしました。多数の聴衆より関心を寄せていただき、実用化への課題も含めた有意義な討議を行うことができました。各国の研究者との交流は、今後の研究活動における視座を広げる上で、極めて大きな収穫となりました。

本学会への参加を通じ、医療イノベーションの加速には、産官学の枠組みや国境を越えた「コラボレーション」が不可欠であると再認識いたしました。この経験を糧に、今後は自身の研究においても多角的な連携を推進し、社会貢献につながる成果の創出に努めてまいります。

末筆ながら、この度は栄えある令和7年度下期海外論文発表奨励賞にご選出いただき、誠に光栄に存じます。単身での国際学会参加という挑戦を経て得られた知見と広い視野は、私の研究者人生における得難い財産となりました。このような貴重な成長の機会をご支援くださいました生産技術振興協会の皆様、に、深甚なる感謝を申し上げます。



懇親会での記念撮影



* Rika ONISHI

1998年8月生まれ
大阪大学大学院 薬学研究科 創成薬学専攻 博士前期課程 修了(2023)
現在、薬学研究科 博士後期課程3年 修士(薬学)
TEL: 06-6879-8188
E-mail: oonishi-r@phs.osaka-u.ac.jp